

3月7日

テーマ：上から出る知恵

聖書箇所：ヤコブの手紙3章 13～18節

◆今日のみことば

しかし、上からの知恵は、第一に純真であり、次に平和、寛容、温順であり、また、あわれみと良い実とに満ち、えこひいきがなく、見せかけのないものです。ヤコブの手紙3章 17節

◆メッセージ

私たちはどんなにたくさんの知識を身に付けて、色々なことを知っていたとしても、その知識を上手に生かせる知恵がないと、せっかくの知識も役には立ちません。それは、頭で分かっていることと、心で分かっていることがあって、頭で分かっていることだけを追い求めている、人は幸せに生きることができないということです。どんなにゲームが上手でも、どんなにスポーツが上手でも、どんなに音楽が上手に演奏できても、どんなに勉強ができてても。

知恵には、上からの知恵とこの世の知恵があります。この世の知恵では、自分がどれだけ上手にできるかを誇って人をけなしたり、自分より上手にできる人を憎んだりする心を持つようになります。一方、上からの知恵にあふれると人にやさしく、えこひいきをしないうで、誰とも平和にお付き合いできる「賢い人」になります。

神さまは私たちに、神さまからの知恵をいただいて「賢い人」「知恵ある人」のように生きることを望んでおられます。ほかの人よりも自分のほうがへたくそなことがあったとしても、神さまはその人が優しく平和な心を持つ人であるなら、そんな人を喜ばれるのだということに気づきましょう。



う。そして、誰とでも平和に生きていけるように、と神さまに求める人をお助けくださいます。

◆お祈り

神さま。わたし（わたしたち）もあなたが望まれているような知恵をいただいて、賢い人としてふるまうことが出来るように助けてください。イエスさまのお名前によってお祈りいたします。アーメン。

(支援教師 奈良献児)